

いま、山形から・・・

山形県メールマガジン 第381号
平成30年9月21日配信

「山形漫歩」

将棋のまち 天童市



史上最年少でプロに昇格した藤井 聡太七段や国民栄誉賞を受賞した羽生 善治竜王、プロ棋士たちが活躍する漫画「3月のライオン」など、将棋界が盛り上がっています♪大人から子どもまで大人気ですね！この将棋に欠かせない**将棋駒は、ここ、山形県天童市が生産量日本一**です。

天童温泉を舞台に、竜王戦や名人戦などのプロ棋士のタイトル戦が毎年のように行われ、幾多の名勝負が生まれています。毎年4月には、舞鶴山山頂広場で、「人間将棋」が行われ、県内外からの多くの観光客で賑わいます。平成29年には、映画版「3月のライオン」主演の神木 隆之介さんと大友 啓史監督が特別ゲストで参加され、過去最高となる11万6千人の方が来場しました！この流れにのり、天童市では「3月のライオン」とコラボレーションしながら、街づくりをさらに進めています。そんな「将棋のまち」をご紹介します。

!(^^)!あそこにもここにも将棋♪

市内を歩いていると、「えっ！ここにも！？」と思うほど、様々なところで将棋に出合えます。

まずは詰将棋。歩いていると、歩道や電信柱に次々と現れます！さらには、羽生 善治竜王など有名なプロ棋士が考えた詰将棋が楽しめる公園（わくわくランド）もあるんですよ。



詰将棋（右は羽生 善治竜王作）

市内には、ほかにも、足湯や案内板、橋、マンホールなど、将棋モチーフがたくさんあり、ここに記載しているのは、ほんの一部です！撮影場所は明記しませんので、これらやほかのモチーフをご自身で街歩きしながら、ぜひ見つけてください♪机のような巨大将棋盤とおにぎりのような駒で対局できるホテルもありますよ。



将棋のまちならではの必見スポットで、将棋について知ろう！

天童市に来たら、ぜひ訪れてほしいのが「天童市将棋資料館」です。JR天童駅に併設されています。その名のとおり、将棋のおこりと日本への伝来、世界の将棋や駒の製作工程、駒工人の作品など、将棋に関することがわかりやすく展示されています。

その一つに、将棋の起源と言われている紀元5世紀頃古代インドの宮廷で考



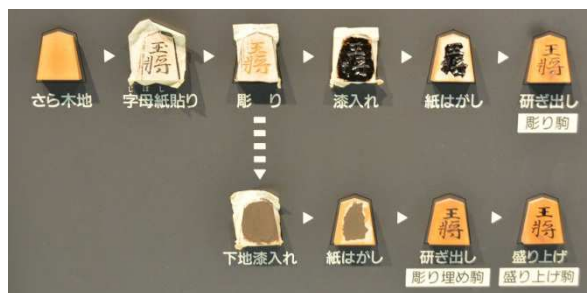
案された「チャトランガ」があります。軍事上の図上演習を盤上に模したゲームで、当初は二人で遊んでいました（11世紀頃に4人制に派生しました）。その二人で遊ぶチャトランガが日本へ渡り「将棋」となり、また、ヨーロッパへ渡ったものは「チェス」となりました。将棋もチェスも同じ起源なんですよ～。日本への伝来は平安時代後期と推定されています。

では、天童の将棋駒の生産はいつからはじまったのでしょうか？江戸末期、あの織田信長の次男、^{のぶかつ}信雄の系列をくむ織田の宗家・天童織田藩が統治していました。家老の吉田大八が、「将棋は戦の戦術にも通じ、武士の面目を傷つけるものではない」と武士の手内職として駒づくりを積極的に奨励したことにより、窮乏した藩士が、家計を補うための内職としたのが将棋駒生産のはじまりです。

天童織田藩のことが詳しく知りたい方は、山形県ホームページ「いま、山形から…」の特集記事のバックナンバー「織田信長を祀る 建勲神社」(平成25年4月5日)をご覧ください。織田信長に最も似ていると言われる肖像画も掲載されていますよ～♪

その後、将棋駒作りが盛んになったのは、太平洋戦争の頃です。娯楽が少なかった兵隊への慰問品として需要が急増したため、大衆駒や行軍将棋などが生産され、「天童駒」の名が全国に広がりました。天童の将棋駒は、平成8年に国の「伝統的工芸品」の指定を受け、現在も伝統的な職人技の継承と将棋による地域発展に取り組んでいます。

次に将棋駒の製作工程をご紹介します。将棋駒は、分業制で作製され、「木地師」、「書き師」、「彫り師」、「盛り上げ師」が協力して完成します。駒の種類は文字を書いた駒、彫って漆を入れた駒、彫った部分を漆で埋めて平らに磨いた「掘り埋め駒」やその掘り埋め駒に漆で文字を浮き出させた「盛り上げ駒」などがあります。その中で技術的に最も難しい「盛り上げ駒」は、数十万円しても当たり前で、プロ棋士のタイトル戦でも使用されています。写真を見ると、漆で文字を浮き出させていることがわかりますね。



天童市将棋資料館 駒の製作工程



盛り上げ駒(櫛などに使われる柘植の木などが使われま
す。)

将棋と共に楽しむ天童の秋♪♪♪

将棋駒のほかにも天童市には生産量日本一があります！まろやかな風味と芳しい香りからフルーツの女王と呼ばれている「ラ・フランス」です。旬は10月上旬から12月中旬頃なので、この時期に合わせて訪れるのもおすすめですよ～。

また、秋の魅力をたっぷり詰めこんだ天童秋まつり（9月24日(月)から11月5日(月)開催）のイベントの一つとして、9月30日(日)から10月7日(日)に、天童市と織田家のつながりからはじまった「真・織ら田の天童『楽市楽座』」が開催されます。「楽市手形」を購入し、各店舗をめぐり、お得な限定サービスを受けるスタンプを集めて豪華賞品をゲットするイベントです。

さらに！秋の将棋の一大イベントといえば、「将棋フェスティバル」があります。今年は、10月20日(土)、21日(日)開催です。将棋大会やプロ棋士による指導対局、書駒・彫駒の実演が予定されています。

将棋を指したい方、腕試ししたい方は、天童市将棋資料館の隣の「天童将棋交流室」（TEL:023-651-0520）へ。自由対局が気軽に楽しめますので、ぜひお越しください！平成29年度の利用者数はなんと1万人超えです！未来のプロ棋士はここから誕生するかも…！？

お土産には、将棋モチーフのお菓子はいかがでしょうか？将棋もろこしや将棋もなかなど、食べられる将棋駒が色々あります。

プロ棋士のタイトル戦が行われているお宿がある天童温泉街や宿には、さらに至るところに将棋がありますので、探しながら温泉を楽しんでみてはいかがでしょうか。

将棋のまちにぜひお越しください！

【取材協力】

・(一社)天童市観光物産協会 住所:天童市本町1-1-2 TEL:023-653-1680

・天童将棋交流室 住所:天童市本町1-1-1 TEL:023-651-0520

・天童市役所商工観光課 住所:天童市老野森1-1-1 TEL:023-654-1111